

1日 金山中学校 インターンシップ 『広報かねやま』 記者体験！



金山中学校3年 花谷 侑楓 記者

▼取材先 認定こども園めぐたま



子どもが大好きという長倉大和くん。今年1月のボランティアで園児たちと触れあったときの楽しさが忘れられず、インターンシップでは、認定こども園めぐたまを選んだそうです。紙芝居の読み聞かせなどを通して、子どもたちとの交流をさらに深めていました。

様々な職場での体験を通して、働くことの楽しさや大変さを学ぶ中高生インターンシップ。今年は5名の皆さんに広報かねやま1日記者として、取材を体験していただきました。取材では、他のインターンシップ生を訪問。皆さん戸惑いながらも、ファインダーをのぞく姿はとても様になっていました。広報の仕事は町の良さを発信し、金山のファンを増やすこと。広報の体験を通して、将来の自分と金山について考えるきっかけとなれば幸いです。



金山中学校3年 星川 怜央 記者

▼取材先 特別養護老人ホームみすぎ荘



迷わずインターンシップ先にみすぎ荘を選んだと言う柴田萌さん。それは身近な人が利用しているからだそうです。柴田さんは、利用者の方との会話を楽しんでいるようです。自分が楽しいと思える仕事に就くことは、難しいけど、大切なことだと思います。



高橋大樹くんは金山農協でインターンシップをしていました。ガソリンスタンドで車の窓拭きをしたり、灯油配達をしたそうです。ガソリンスタンドは、車社会には欠かせない仕事。高橋くんは「とてもやりがいがある」と真剣に取り組みながら話していました。



金山中学校3年 栗田 駿之介 記者

▼取材先 金山農業協同組合



新庄南高校金山校2年 佐藤 友香 記者

▼取材先 金山郵便局



誰もが利用したことのある郵便局。「だからこそよく知りたいと思った」と正野烈さんは話していました。ポストに入れた郵便物がどのように相手に届くのか。実際に届ける人はもちろん、窓口で事務をする人も欠かせない重要な仕事をしていることを学んでいました。



今田くんと三上くんは、木材を乾燥させるための作業を行っていました。「金山は杉が有名なので、木材について興味がある」と森林組合での職場体験を選んだきっかけを話す2人。こういった若い人たちが、今後金山の林業を盛り上げてくれると嬉しく思います。



新庄南高校金山校2年 阿部 結佳 記者

▼取材先 金山町森林組合